

脈々 高蔵^{スピリッツ} 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「心広かるべし」

人は、自分を物差しにして人を推し量る。間尺に合わないと見れば、たちまち「不良品」のレッテルを張って、視野の外に押しやろうとする。

「常識外れ」とも映る人は、私たちには想像さえできない凄まじい現実を生きているということがあるものだ。「困った奴だ」と眉をひそめられる人が、実は「困っている人」だったりもする。

世に完全な人はなく、己もまた万能ではない。眼を凝らし、謙虚に耳を傾けよ。

小さき鍋は早く熱す。 (「藪椿」12-22)